



山口市

報道資料

平成30年2月1日

1 件 名	日本遺産の認定申請について
2 日 時	
3 場 所	
4 内 容	文化庁が全国各地域の歴史的魅力のあるストーリーの認定を進める「日本遺産」について、本市としても特色ある文化財等の活用を図っていく観点からストーリーを作成し、日本遺産への認定申請を行いました。 ① 申請者及び申請タイプ 申請者 山口市 / 申請タイプ 地域型 ② 申請ストーリーのタイトル 都のうつし絵 山口 ～四神相応の地に浮かぶ中世日本のおもかげ～ ③ 申請ストーリーの概要 室町時代、全国の守護大名は都を模した町を造りました。中でも本州西端の守護大名大内氏が、四神相応の地・山口に開いた町は、最大7カ国の守護の権勢や、国内外との交易の富を背景に、都以外では最大規模の「西の都」に発展しました。 応仁の乱で都が荒廃すると、山口は都に替わる文化の受け皿となり「大内文化」が花開きました。江戸期や明治以降の都市開発で、全国の中世の町筋は姿を消しましたが、山口には当時の町割りとともに、寺社群・文化風習が色濃く残り、古地図を片手に町歩きをしながら、四季折々に中世日本のおもかげを楽しむことができます。 ④ 主な構成文化財（抜粋） 大内氏遺跡（館跡・築山跡、高嶺城跡）、瑠璃光寺五重塔、今八幡宮、常栄寺庭園（雪舟庭）、山口祇園祭など 合計18件。 ⑤ 認定スケジュール 平成30年4月に結果が発表される見込み ⑥ 文化庁では東京オリンピック2020までに全国で100件程度の認定を予定しており、現在までに54件が認定されている。 なお、山口県内の認定状況は、平成29年度に認定された「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～〔北九州市(福岡県)・下関市(山口県)〕」1件のみ。
5 出 席 者	
6 問 い 合 わ せ	山口市ふるさと創生部文化交流課（担当 横沼、古賀、河村） 山口市亀山町2-1 電話 083-934-2717

日本遺産認定申請に関する市長コメント

このたび、本市では、文化庁が認定を進められておられる日本遺産において、本市固有の歴史文化資産であります「大内文化」を軸に、「都のうつし絵 山口～四神相応の地に浮かぶ中世日本のおもかげ～」と題するストーリーを作成し、認定申請を行いました。

このストーリーが、多くの皆様に親しんでいただけるものとして評価していただき、日本遺産に認定されますことを大いに期待をしております。

本市では、今回の申請を含め、今後とも、大内文化をはじめとします本市の特色ある歴史や文化財等の更なる活用を図り、地域活性化や多くの交流を創出できる仕組みづくりに取り組んでまいります。